

## 応用言語学演習

担当: K.I.

### タスクの感想・課題・改善点など

タスクの内容：

協力者を二人一組のペアにし、それぞれに異なる絵を一枚ずつ渡す。

ペアはそれぞれ **Drawer** と **Explainer** に分かれ、後者は自らの絵を英語で説明し、前者はその情報だけを頼りにペアの相手の絵を白紙に再現する。

なお、相手の絵は一切見てはいけないものとし、またタスク中の会話は英語で行うこととした。

#### 1. 感想・反省

今回タスクを実際にやってみたが、私自信にとってこれが初めての模擬授業形式の演習であったため、準備と経験の点で満足がいかない部分があった。

英語が流暢に話せなかったという点は私自信の英語能力や授業の経験の無さに起因する部分が多いが、それを補うために授業を進めるための自分用のレジュメの作成、授業用の英文集の作成など、さらなる対策を講じるべきであった。

まずそうした「英語で授業をすること」への不安を払拭するための準備があれば、より意識を生徒（協力者）の反応を見るなどの方へと向ける余力が生まれたのではないかと思われる。

このように課題が多く浮かんだが、自分の持ってきた活動で生徒（協力者）が楽しんでくれたり、自分の英語が皆に伝わっているのかを確かめながら授業をできたりと、非常に楽しいと思う瞬間があったのはポジティブな収穫であった。

#### 2. アクティビティーに関して

今回の活動自体は、上記の問題が改善されればよりクオリティーを上げられるだろうという実感もあった。一方で、活動後の時間が有意義に使うことができなかったと感じた。

実際の授業をイメージして

- ・ 生徒に難しかった、或いは簡単だったかなどの反応を聞く
- ・ 生徒に分からなかった表現などを述べてもらい、その表現を重点的に学習する。（実際の授業では、次の授業時間においてその表現を使った生徒のアウトプットを引き出すアクティビティーを行い、表現の定着を図ることが望ましいかと思われる）
- ・ 活動の狙いは何だったのか、生徒にその意図を伝える。

などの部分までを英語でやり切ることができればと思う。